

諫早開門「今が被害」漁民ら怒り

よみがえれ！有明海・国会通信

定期的淡水排出でヘドロ

【毎日新聞・7月27日】小雨が降る

6月15日、佐賀県白石町の畑で十数人の男女が腰を曲げ、収穫期を迎えたタマネギを黙々と、かごに集めていた。その中に、同県太良町の漁師で開門請求訴訟の原告、平方宣清さん(58)の姿があった。漁での収入が見込めず「出稼ぎ」で生計を立てる。「腰が痛くて」。海から陸に上がり、慣れない作業に苦笑いして空を見上げた。

かつて梅雨の時期は、養殖アサリやカニ漁に汗を流していた。しかし、諫早湾干拓事業の潮受け堤防が閉め切られた97年ごろから、アサリだけでなく、収入の柱だった冬のタイラギ漁も不振に。約20年前の最盛期から、収入は約10分の1に落ち込んだ。今年もアサリの身は詰まらず、市場で3分の1以下の値しか付かなかった。船を出してもカニの水揚げでは利益は見込めず、農作業の手伝いに。生活のためと割り切っているが「やっばり海で生きてきたから。船にこそ、安らぎがある」

「泥が積もり濁りが増加、漁獲効率は低下」。環境影響評価(アセスメント)中間報告は開門による諫早湾の影響をこう指摘する。「冗談じゃない。被害を受けているのは今なのに」と平方

さんは憤る。

実際には、排水門は定期的に「開門」している。堤防内の調整池は防災機能を保持を理由に標高マイナスイメートルで管理。河川からの流入などで水位が上昇すると門は開く。昨年度は約3億2800万トンで諫早湾に排出。堤防閉め切りで潮流が弱まっているため淡水が海水と混ざらず、赤潮が続発していると平方さんらは主張する。

大雨後の5月下旬、諫早湾内の漁師から「網にヘドロが絡まり、漁ができない」という苦情が続出した。同月20日には、有明漁協(島原市)の漁師8人が県に排出の抑制を求めた。松本正明組合長(59)は「当面は小幅な開門で調整池を海水にし、淡水の排出がなくなるだけでも漁場は改善する」と断言する。

だが、今の被害に目を向けず、アセスは開門した際の被害を強調するだけ。松本さんは吐き捨てるように言う。「国が開門する気がないなら、そのうち、湾内から漁師はいなくなるさ」

昨年末の福岡高裁判決を受け、国は開門方針を決めた。だが、アセス中間報告で、対策費を最大1077億円と見積もるなど、開門推進、反対両派から怒りの声上がる。国の

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤富和)発行
092-512-1636
090-9602-0700

代替水源の確保急務

干拓地農家、塩害が不安

【毎日新聞・7月28日】有明海に

面した佐賀市川副町から鹿島市まで広がる約3200ヘクタールの有明干拓地。食糧増産を図るため、稲作拡大を目指す農家が入植し、約50年前から米作りに励んできた。白石町の陣内護さん(76)もその一人だ。

一番の課題は土壌の塩害対策だった。暗きよを掘り、排水機能を高めて塩分が抜けやすいようにし、深さ約30メートルの井戸から、水を確保した。「稲作にとって真水が命」。当時は塩分濃度を測る機器も十分になく、夜中も田んぼの水をなめて回った。今は、大規模な貯水池やクリークなど安定的な水源が確保され、佐賀では大規模な塩害は発生していない。

諫早の入植者らが「開門」で最も懸念するのも塩害だ。堤防内側の調整池に海水が入り、農業用水に使えない。陣内さんは「不安は分かる」と思いやる。「開門の際は、国がきちんと代替水源を整えてほしい」と訴える。その「水源」。環境影響評価(ア

本気度が見えない中、防災、塩害に不安を抱く人たちや、有明海の再生を願う漁師たちの「声」を聞いた。

セスメント)中間報告で、国は地下水案を検討し、今度は、地盤沈下を心配する周辺の後背地住民の反発を招いた。堤防閉め切りで潮が遡上せず、河川水を使えるようになり、地盤沈下の不安が緩和されていたからだ。

一方、開門推進派もこうした後背地に配慮し、地盤沈下の懸念がない「ため池」を提案していたが、中間報告は「用地確保に時間がかかる」などとして採用しなかった。

うまく水源が確保できた例が島根、鳥取両県の中海干拓事業だ。1963年に始まり、沿岸4カ所に計485ヘクタールの干拓地が完成。だが、堤防閉め切りで中海の淡水化が水質悪化につながるとして反対運動が起こり、02年に淡水化は中止された。その代替水源がため池だった。

ただ、諫早と異なるのは一部に県有地があり、了解を得て「池の用地確保にも大きな問題はなかった」(中国四国農政局)ことだ。諫早では、長崎県側の反発があり、県は「後背地は優良農地で水源にはできない」と主張。「耕作放棄地のため池を」とする開門推進派とかみ合わない。

中海の淡水化中止に取り組んだ保母武彦島根大名誉教授(69)は「諫早も、行政任せにせず、市民レベルで真剣に考えれば、おのずと難問は解決できる」と指摘する。